



佐賀県の取組状況について

平成30年1月25日

佐賀県産業労働部新エネルギー産業課





平成28年度以降の取組状況



年度	内 容
平成28年度	<ul style="list-style-type: none">・政策提案<実証フィールドのインフラ整備・一般海域の法整備>(5月)・第11回再生可能エネルギー世界展示会(横浜)出展(6月)・佐賀県海洋再生可能エネルギー研究開発等事業費補助金採択(9月)・佐賀県海洋再生可能エネルギー推進協議会(12月)・J☆SCRUM第3回会議(12月)・ドップラーライダーによる陸上での風況観測(1月)・Umieneデータ整備(海底地形調査)(3月)・後背地調査(3月)
平成29年度	<ul style="list-style-type: none">・政策提案<環境影響評価手続の簡素化>(5月)・佐賀県海洋再生可能エネルギー推進協議会(5月)・第12回再生可能エネルギー世界展示会(横浜)出展(7月)・佐賀県海洋再生可能エネルギー研究開発等事業費補助金採択(7月)・海洋再生可能エネルギー理解促進講演会(11月)・普及啓発用コンテンツ(DVD・パンフレット)作成(12月)・J☆SCRUM第4回会議(1月)・海洋エネルギーセミナー(2月)・第6回国際風力発電展 WIND EXPO2018(東京)出展(2月)



- 1 目的 国の実証フィールド、国内唯一の海エネ研究開発拠点が立地する地域特性を活かし、地域を海エネの中核拠点とすることにより、海エネ産業の創出、海エネ産業クラスター形成を目指す。
- 2 組織 産業界・学術機関・金融機関・官公庁／経済団体 で構成
- 3 事業計画
 - (1) 海洋エネルギー機運の醸成
国内・外の海洋エネルギーの開発動向の情報共有(メルマガ配信)、先進地視察、地元の自然条件(気象・海象)、社会条件(港湾、研究施設等)などの勉強会・研修会の開催等
 - (2) マッチング機会の提供
 - (3) 海洋エネルギーの研究開発、実証実験、事業化の促進(例:国事業への応募)
 - (4) 提案・要望活動
- 4 設立 平成27年12月7日
- 5 会員 84機関 (平成30年1月24日現在)

産業界	58団体(県内25団体、県外33団体)	学術機関	10団体
金融機関	5団体	官公庁・経済団体	11団体



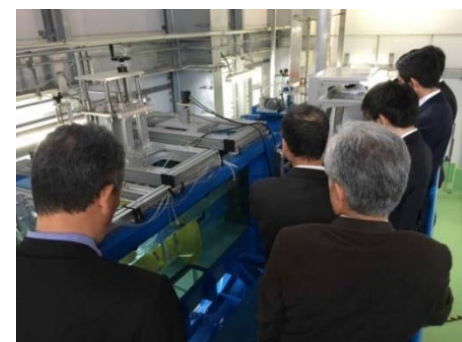
1 設立総会(第1回会議)

- (1)日 時 平成27年12月7日(月) 14:00～16:20
- (2)会 場 唐津ロイヤルホテル
- (3)内 容 設立総会
講演「海洋再生可能エネルギー利用の現状と
今後の展望」等



2 第2回会議

- (1)日 時 平成28年3月25日(金) 13:30～15:30
- (2)会 場 佐賀大学海洋エネルギー研究センター(IOES)
- (3)内 容 講演「佐賀大学の取組」等
IOESの施設見学



3 第3回会議

- (1)日 時 平成28年12月22日(木) 13:30～15:30
- (2)会 場 虹の松原ホテル
- (3)内 容 講演「洋上風力を取り巻く制度や課題」(日本風力発電協会)
「風力発電関連産業の総合拠点を目指して」(北九州市)
「洋上風力発電導入への取組」(五島市)
報告「佐賀県の取組状況」
- (4)出席者 57人





佐賀県海洋再生可能エネルギー研究開発等事業費補助金



- 1 対象主体 (1)J☆SCRUM(佐賀県海洋エネルギー産業クラスター研究会)の会員
(2)J☆SCRUMの会員で構成された共同事業体
- 2 対象事業 海洋再生可能エネルギーに関連する研究開発又は実証実験事業で、県内企業が参画可能なものであり、県内の海洋再生可能エネルギーの産業創出及び地域活性化に資するもの

※補助金交付要綱における「海洋再生可能エネルギー」の定義

- ・洋上の風力を利用して得られる電気
- ・波力、潮汐又は潮流を利用して得られる電気
- ・海水の温度差を利用して得られる電気

- 3 対象経費 (1)直接人件費、機械装置購入費、研究開発費、材料・消耗品費、外注加工費、施設利用料、委託費、設置工事費、地元調整費、各種調査費、その他諸経費
(2)国、他の自治体等の委託・補助等の支援を受けている事業は、その部分を除いた金額を対象とする
- 4 補助率 補助対象経費の2/3以内(10,000千円を上限とする)

【平成29年度】

- ・ 採択件数 1件
- ・ 採択事業 漁業協調型「洋上風力発電事業実用化研究事業」

【平成28年度】

- ・ 採択件数 1件
- ・ 採択事業 漁業協調型「浮体式小型潮流発電の実証研究」
浮体や海上構造物に吊り下げて設置する浮体式潮流発電の実証研究



佐賀県海洋再生可能エネルギー推進協議会



海洋再生可能エネルギーの総合調整を諮る有識者協議会

海洋再生可能エネルギー産業創出、地域活性化策を通じ、海エネの推進を図ることを目的に、平成26年9月に設立

委員名簿

<平成30年1月24日現在>

区分	委員の役職名等
学識 経験者	長崎総合科学大学 学長
	佐賀大学海洋エネルギー研究センター センター長
海域を 利用する 者の代表	佐賀玄海漁業協同組合 代表理事組合長
	// 鎮西町統括支所 運営委員長
	// 加部島支所 運営委員長
地元関係 機関の 代表	九州電力(佐賀配電センター 副センター長)
	佐賀県地域産業支援センター(副事務局長)
	唐津市(企画政策課長)
	伊万里市(企画政策課長)

<アドバイザー>内閣府、水産庁、全国漁業協同組合連合会
<オブザーバー>唐津海上保安部、関連企業等 <事務局>佐賀県

開催実績

<平成30年1月24日現在>

平成26年度 3回(9月、10月、3月)
 平成27年度 2回(7月、3月)
 平成28年度 1回(12月)
 平成29年度 1回(5月)

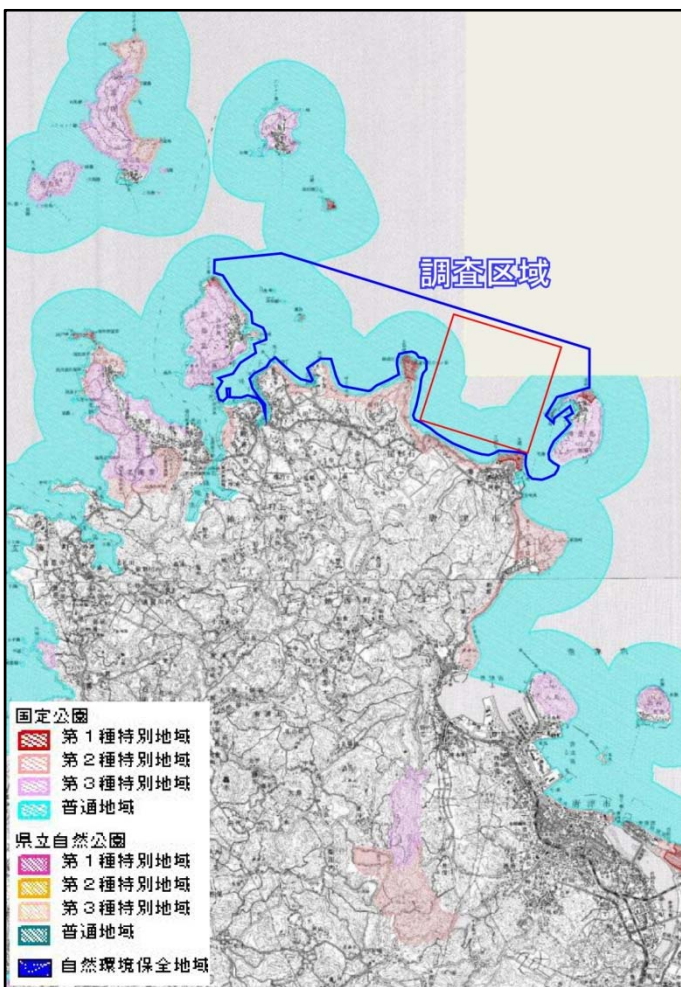




Umieneデータ整備(実測調査)



海洋再生可能エネルギーの実用化に必要であるUmieneデータを整備するため、神集島西部の海域について「実測調査」、及び加部島東部から神集島西部の海域について「文献調査」を実施

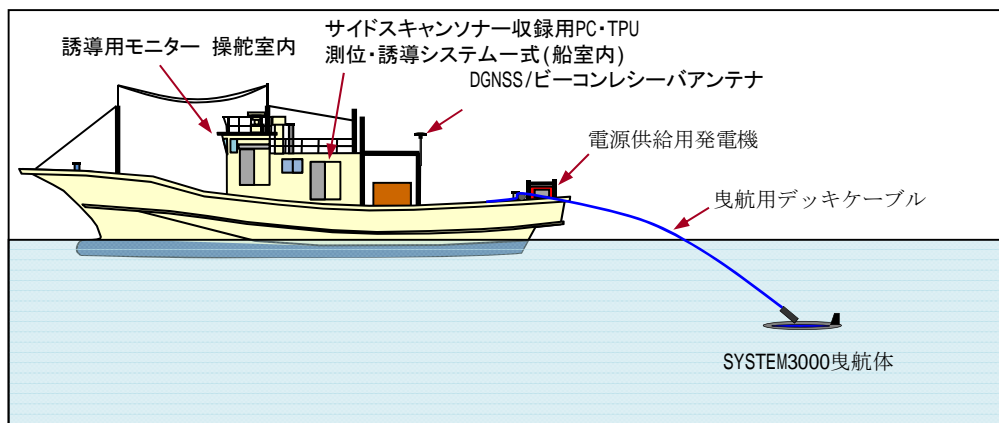


出展:佐賀県民環境部 佐賀県の自然公園-玄海国定公園

実測調査

調査区分	調査事項
海底地形調査	海底地形データの取得整備
海底面状況調査	海底面の底質分布、粒度分布、落下物の調査
海底地質調査	海底面下の地層構成の調査

海底面状況調査





Umieneデータ整備(文献調査)



文献調査

Umieneデータ整備の一環として、公表されている既存データ、県による既往調査の資料を収集・整理し、机上による検討を実施

条件	項目	収集資料
自然条件	地形・地質情報	海図、海底地形図、地質図、海底地形情報図、底質分布
	地震活動	地震被害、火山岩類の活動年代、活断層の有無
	気象	気象状況、台風の経路、波浪
	海象	水温水平分布、海流・潮流
	海浜変形・漂砂	海岸線の変化、漂砂
	水質	水質汚濁発生源の状況、赤潮発生状況、水温
	動物	海域の動物相、重要な種、注目すべき生育地
	植物	海域の植物相、重要な種、注目すべき生育地、藻場
社会条件	漁業活動	共同漁業権免許漁場、漁業の種類・時期、漁協一覧
	港湾・船舶活動	港湾区域、航路、船舶通過頻度、港湾計画図
	沈船・ケーブル・障害	沈船・海底障害物、海底ケーブル

※Umieneデータは、J☆SCRUM会員に貸与することが可能です。なお、容量の関係から「必要な部分のみの提供」となりますので、事前に新エネルギー産業課までご連絡ください。



事業者誘致に向けた調査・データ収集



佐賀県海域で事業化に取り組む事業者を誘致するため、環境影響評価に必要な既存データの調査・収集、及び拠点港を中心とした後背地調査を実施

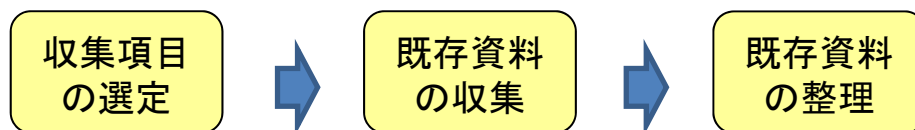
環境影響評価に必要な既存データの調査・収集

環境影響評価手続の中で事業者が最初に実施する「配慮書の手続き」(配慮書作成)に必要な既存資料について情報の収集・整理を実施

環境影響評価手続

環境影響評価調査	「配慮書」の手続き
	「方法書」の手続き
	環境影響評価の実施
	「準備書」の手続き
	「評価書」の手続き

既存資料調査の手順



発電事業を検討されている事業者にデータを提供することにより、配慮書手続の軽減による事業化の後押し





後背地拠点ポテンシャルマップ



佐賀県北部海域での洋上風力発電の可能性を確認

「平成28年度後背地調査」にて、北部海域の自然条件(風況,海底地形等)、社会条件(法規制等)を整理し、5MW級の着床式洋上ウインドファームの設置可能性を確認

海洋観光資源

- ・漁業が盛んな港町。「呼子のイカ」が名物
- ・漁船の避難港として利用
- ・佐賀県海エネ発祥の地

漁業協調(水産振興)

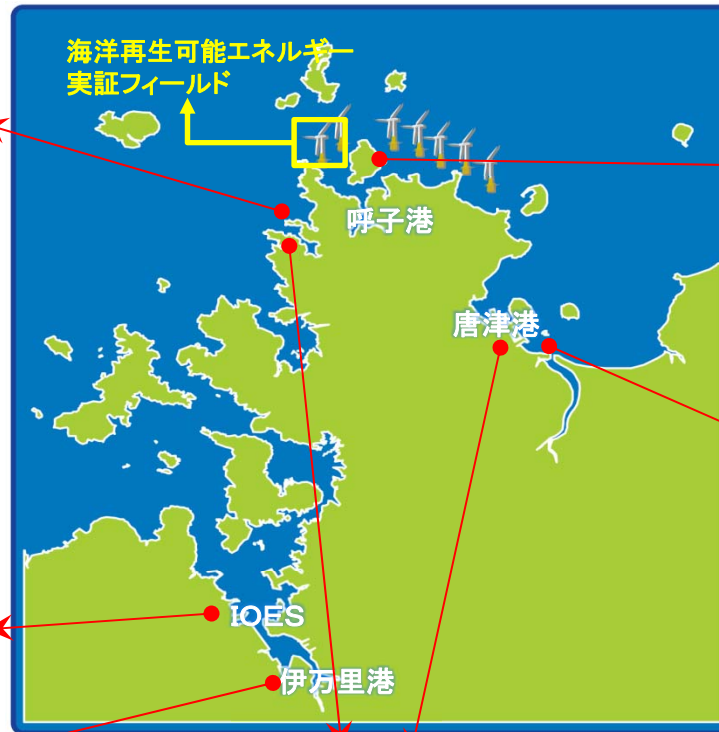
- ・既存の漁場、漁法を尊重し、漁業者との対話を重視(佐賀方式)
- ・漁船の活用等による雇用創出等による漁業協調に漁業者も一定の理解あり

研究開発拠点

- ・佐賀大学海洋エネルギー研究センターと連携した海エネ 研究開発拠としても活用可能

部材製造

- ・造船業、電気機器製造業、鋳造品製造業等の関連メーカーが集積
- ・工業団地周辺に活用可能な遊休地があり、輸送経路も充実



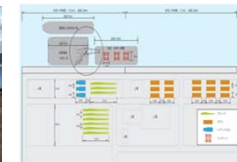
推進・支援体制

- 『NPO法人MATSRA』
実証フィールドの管理運営
- 『J☆SCRUM』
産官学金による産業クラスターの形成促進



風力発電施設建設・メンテナンス拠点

- ・陸上風車の荷捌実績のある埠頭用地と物流機能
- ・北部海域から近く、O&M拠点としても活用可能
- ・部品製造、風車メンテナンスに実績のある企業があり、機械製造業が集積



系統連系

- ・北部海域付近に海底ケーブルの陸揚地点の候補地あり
- ・閉鎖、廃炉が決まっている発電所の系統の有効活用により系統容量確保の可能性あり

※後背地データ等は、J☆SCRUM会員に貸与することが可能です。なお、容量の関係から「必要な部分のみの提供」となりますので、事前に新エネルギー産業課までご連絡ください。



洋上風力発電の導入促進に向けた法案



時事通信社iJAMP(平成30年1月9日)

- 「政府が検討している洋上風力発電の導入促進に向けた法案概要が9日、明らかになった。日本の領海内で風力発電を導入する際のルールを定め、事業者に一定期間の利用を認める制度を創設するのが柱。政府は与党とも調整し、今月22日召集の通常国会に提出する方針だ」
- 「これまで日本には海洋利用に関する統一的なルールがなく、事業者が洋上風力発電を進めようとしても、海運や漁業の関係者などと調整が困難だった。法案ではこうした手続きを明確にし、利用しやすくする。」

朝日新聞(平成30年1月17日)

- 「政府は洋上風力発電の導入を促す法案を、22日に始まる通常国会に提出する方向で調整に入った。海域の利用についてのルールを全国で統一し、企業が発電事業に参入しやすくする。」
- 「例えば、現状は海域を利用できる期間は地域によって異なり、通常3～5年と短い。法案では利用可能な期間を20年超に延ばし、事業の見通しをよくすることで、参入する企業が金融機関から融資を受けやすくすることなどを図る。」



展示会出展

1 第12回再生可能エネルギー世界展示会

- (1)会 期 平成29年7月5日(水)～7月7日(金)
- (2)会 場 パシフィコ横浜(展示ホールC)
- (3)内 容 パネル展示、ライダーブイ模型展示
衝動タービン展示(佐賀大学IOES)

2 第6回国際風力発電展(WIND EXPO2018)

- (1)会 期 平成30年2月28日(水)～3月2日(金)
- (2)会 場 東京ビッグサイト
東5ホール「E36-40」



【再生可能エネルギー世界展示会】

講演会開催

1 海洋再生可能エネルギー理解促進講演会

- (1)開催日 平成29年11月21日(火)
- (2)会 場 唐津市水産会館
- (3)内 容
講演「洋上風力発電事業の漁業協調について」
DVD視聴「海洋再生可能エネルギーについて」
「唐津沖合での海洋エネルギー事業化の優位性」



【海エネ理解促進講演会】



講演

1 新潟県海洋エネルギー研究会セミナー

- (1)開催日 平成29年1月18日(水)
- (2)会場 プラスサード(新潟市)
- (3)内容

講演「NEDOにおける海洋エネルギーの取り組みと実用化に向けての課題」
「佐賀県にける実証フィールド活用に向けた取組」

2 OEA-J国際海洋エネルギー資源フォーラム

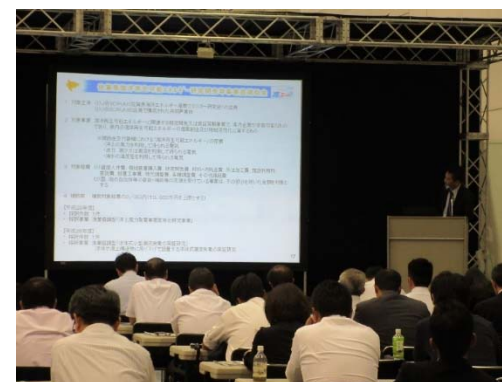
- (1)開催日 平成29年7月7日(金)
- (2)会場 パシフィコ横浜(アネックスホール)
- (3)内容

講演「海洋エネルギーの利用促進を目指す自治体の現状と課題」～佐賀県の取組状況を報告～

3 エコテクノ2017 海洋エネルギーセミナー

- (1)開催日 平成29年10月13日(金)
- (2)会場 西日本総合展示場(北九州市)
- (3)内容

講演「鹿児島県における海洋再生可能エネルギーの取組について」
「長崎県の実証フィールド及び実証試験等の取組について」
「佐賀県における海洋再生可能エネルギーの取組について」



【エコテクノ2017】

4 第6回国際風力発電展(WIND EXPO2018)「洋上風力セミナー」(H30.3.1予定)



お知らせ



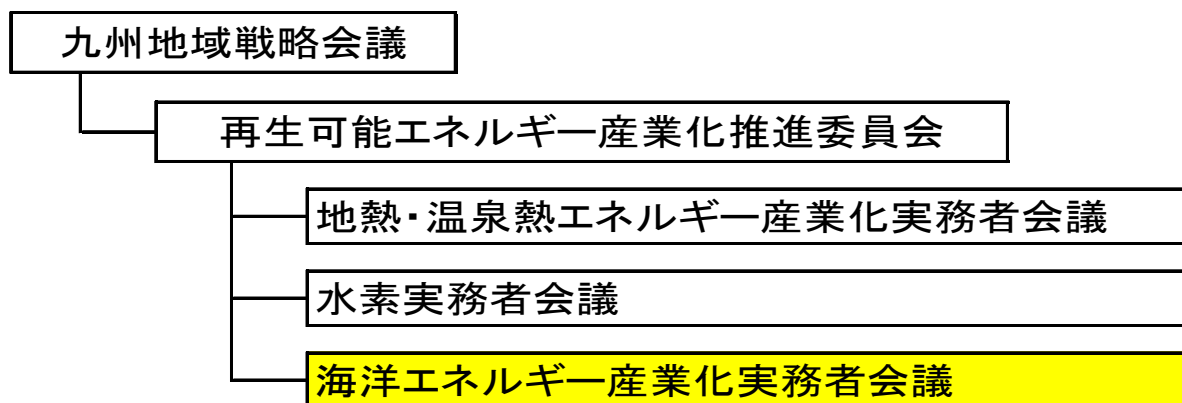
「海洋エネルギーセミナー」の開催

- 1 日時 平成30年2月6日(火)13:00~14:45
- 2 会場 ホテルグランデはがくれ 1階「ハーモニーホールB」
- 3 内容(予定)
 - (1)佐賀大学海洋エネルギー研究センターの取組
 - (2)沖縄県久米島町の海洋エネルギーの取組
 - (3)鹿児島県の海洋エネルギーの取組
 - (4)佐賀県の海洋エネルギーの取組
- 4 その他 海洋エネルギー産業化実務者会議の開催に
合わせて、各自治体等の取組を紹介する
「海洋エネルギーセミナー」を開催します。



【久米島町:海洋温度差発電実証試験施設】

【参考】九州地域戦略会議「海洋エネルギー産業化実務者会議」



※H29年度開催県:佐賀県



お知らせ



海洋再生可能エネルギーエネルギープロモーションDVD制作

- 佐賀県玄界灘沖合での海洋再生可能エネルギーの事業者誘致及び地域の方の理解促進を目的とした2種類の「DVD」を制作しました。



＜事業者の方向け＞



＜地域の方向け＞

【視聴方法】

YouTubeの検索画面から「佐賀 未来」で検索の上、ご覧ください。

- なお、J☆SCRUM会員の方を対象に、DVDの貸出を行っています(要返却)。
- 貸出を希望される場合は、新エネルギー産業課までご連絡ください。



～本年もよろしくお願ひ申し上げます。～

